

7 主な営繕工事

7.1 飛騨天文台

飛騨天文台浄化槽改修工事

台内には各棟に旧式の浄化槽が各1基ずつ設置されて、汚水のみ処理を行なっているのみで、各種雑排水はそのまま近傍の谷川に排水していた。河川の源流部でこのようなことを行なうことは、環境憲章を掲げる京都大学としては不適切なことであり、有ってはならないことであった。また、浄化槽の維持管理は各浄化槽ごとに実施しており、費用と手間がかかるものであった。

今回各棟に設置されていた浄化槽を一元管理し、各種雑排水も一括して処理できる合併処理浄化槽を1基設置し、汚水、雑排水を一元処理することを可能とした。これにより、天文台から排出される全ての排水は、環境基準に適合したものとなり、また、それに伴い従来と比較し少ない経費と手間での維持管理することが可能となった。

(施工会社：橋本工業株式会社 落札金額：2,967千円)

京都大学(蔵柱)管理宿泊室他防水等改修工事

本工事は以下の工事範囲について改修工事を実施した。

(1) 管理宿泊棟

アルミサッシ、内樹脂サッシ、宿泊室内装(壁面、床面、照明器具、ウレタン吹きつけ断熱工事)廊下(壁面、天井、床面、照明器具改修工事)外壁防水塗装工事。(煙突除く)

(2) 研究棟

外壁防水塗装工事、屋上防水工事

(3) ドームレス太陽望遠鏡機械室、電気室、渡り廊下

屋上シート防水工事、外壁塗装工事

昭和43年に開所して以来一度も改修工事を実施しなかった外部建具について、断熱性能を向上させ省エネルギー効果の高いペアガラスや、樹脂製サッシを採用し管理宿泊棟の建具を改修した。また、外部からの訪問者が利用する宿泊室内装などの改修工事を実施し快適性を向上させた。

研究棟、ドームレス太陽望遠鏡機械室など外壁、屋上の防水工事を実施し、建物機能の向上を図った。屋上防水シートには遮熱性能が高い素材をメーカーに提案してもらい、屋上の温度上昇を低く抑え、建物から立ち上る上昇気流を抑える効果の高いものとした。

(施工業者：和仁産業株式会社 落札金額：56,700千円)

(木村)